

腹腔鏡下虫垂切除術 30kg～40kg未満(ドレーンなし)パス 入院診療計画書

患者 I D	主治医	病 名	説 明 日
患者氏名	() 担当医	管理栄養士	症 状 ☐ 事前検査による異常所見
生年月日	() 看護師	特別な栄養管理の必要性	☐ 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	☐ 有 ☐ 無	(腹痛・発熱・嘔吐)

月 日	入院日・手術前	手術後
患者目標	不安なく手術を受けることができる	手術後合併症を起こさない
治療 処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無を確認します 事前に点滴をします	心電図モニターと酸素マスク、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態により変わります) 適宜体温や血圧を測ります 点滴をした状態で帰室します(続けて点滴をします)
検査	必要に応じて行います	
食事	入院後、食事や水分を摂取することができません	
排泄	制限はありません	ベッドの上で排泄用具を使用します
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)	翌朝まで手術着のままで観察していきます
活動 (安静度)	ベッド上でできるだけ安静にお過ごしください 手術室へ歩いて移動します 状態によっては車椅子やベッドで移動します	翌朝の回診まではベッド上で安静となります
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します ネームバンドを装着します 手術開始予定時刻は 時 分です 装身具(眼鏡・ヘアピン・おもちゃ等)を外します 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください)	痛みが強くなる場合や気分が悪くなったり、身体に異常を感じた時は すぐにお知らせください 手術後に医師から説明があります
その他	転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます	

上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

外科パス:

腹腔鏡下虫垂切除術 30kg～40kg未満(ドレーンなし)パス 入院診療計画書

患者氏名

() 患者 I D

月 日	術後1日目		術後2日目	術後3日目	退院日
患者目標	手術後合併症を起こさない			日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる	
治療 処置 注射 (内服)	回診時、ガーゼの汚染が多い時は交換を行います(退院まで必要時行います) 日中まで点滴をします 			退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります) ネームバンドを外します 体温計を回収します	
検査	必要に応じて行います			退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします 会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります 状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます	
食事	回診後、医師の指示で水分(水・お茶のみ) を摂取することができます 昼から流動食が開始となります 病院食以外のものは食べないでください	朝は3分粥食です 昼は5分粥食です 夕は7分粥食です	朝は全粥食です 昼から常食です		
排泄	回診後から制限はありません	制限はありません			
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします)				
活動 (安静度)	回診後からは病棟内でお過ごしください (初回歩行時は看護師が付き添いをします) 初回歩行後は、ふらつきなどがなければ 1人で歩けます 状態によって変更があります	病棟内でお過ごしください			
説明 (指導)	痛みが強くなる場合や気分が悪くなったり、身体に異常を感じた時はすぐにお知らせください (歩行後、血栓を予防する靴下を脱ぎます) 				
その他	毎日回診があり、医師が手術部位の状態を確認します				

外科パス:

